

---

# 企業スポーツに対する市民意識に関するアンケート

2017年11月

---

株式会社野村総合研究所  
コンサルティング事業本部

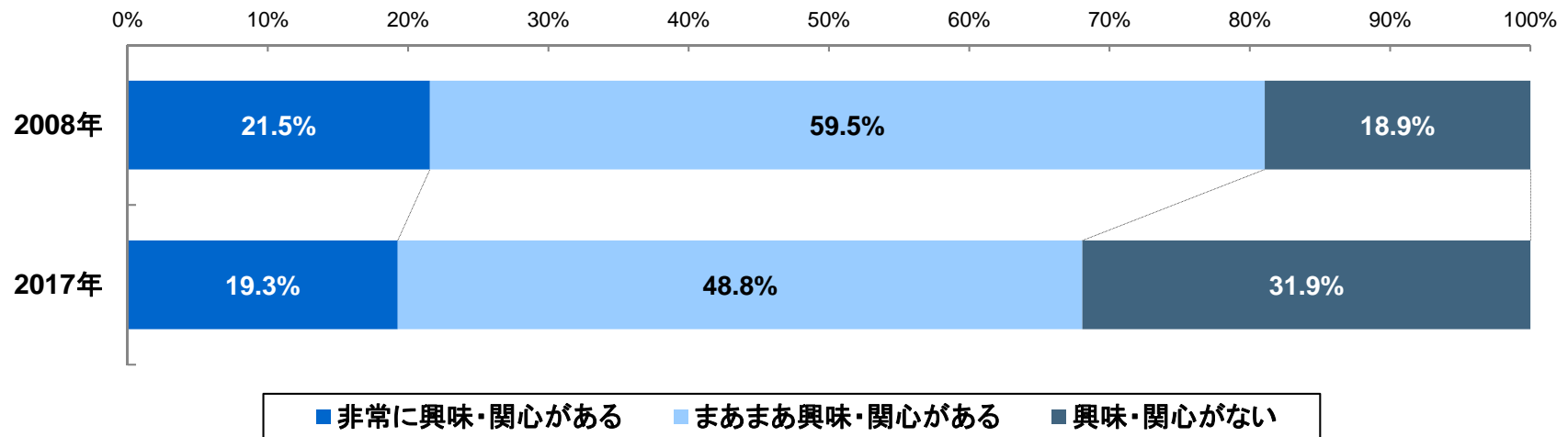
# 調査概要

	2008年調査	2017年調査																																																
調査名	企業スポーツに対する市民意識に関するアンケート (大崎企業スポーツ事業研究助成財団からの委託調査の一環として実施)	企業スポーツに対する市民意識に関するアンケート																																																
調査時期	2008年7月18日～7月22日	2017年11月17日～11月19日																																																
調査方法	ウェブアンケート	ウェブアンケート																																																
回答者数・内訳	<table border="1"> <thead> <tr> <th>属性</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>男性20代</td><td>200人</td></tr> <tr><td>男性30代</td><td>200人</td></tr> <tr><td>男性40代</td><td>200人</td></tr> <tr><td>男性50代</td><td>200人</td></tr> <tr><td>男性60代以上</td><td>200人</td></tr> <tr><td>女性20代</td><td>200人</td></tr> <tr><td>女性30代</td><td>200人</td></tr> <tr><td>女性40代</td><td>200人</td></tr> <tr><td>女性50代</td><td>200人</td></tr> <tr><td>女性60代以上</td><td>200人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2000人</td></tr> </tbody> </table>	属性	人数	男性20代	200人	男性30代	200人	男性40代	200人	男性50代	200人	男性60代以上	200人	女性20代	200人	女性30代	200人	女性40代	200人	女性50代	200人	女性60代以上	200人	合計	2000人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>属性</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>男性20代</td><td>206人</td></tr> <tr><td>男性30代</td><td>206人</td></tr> <tr><td>男性40代</td><td>206人</td></tr> <tr><td>男性50代</td><td>206人</td></tr> <tr><td>男性60代</td><td>206人</td></tr> <tr><td>女性20代</td><td>206人</td></tr> <tr><td>女性30代</td><td>206人</td></tr> <tr><td>女性40代</td><td>206人</td></tr> <tr><td>女性50代</td><td>206人</td></tr> <tr><td>女性60代</td><td>206人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>2060人</td></tr> </tbody> </table>	属性	人数	男性20代	206人	男性30代	206人	男性40代	206人	男性50代	206人	男性60代	206人	女性20代	206人	女性30代	206人	女性40代	206人	女性50代	206人	女性60代	206人	合計	2060人
属性	人数																																																	
男性20代	200人																																																	
男性30代	200人																																																	
男性40代	200人																																																	
男性50代	200人																																																	
男性60代以上	200人																																																	
女性20代	200人																																																	
女性30代	200人																																																	
女性40代	200人																																																	
女性50代	200人																																																	
女性60代以上	200人																																																	
合計	2000人																																																	
属性	人数																																																	
男性20代	206人																																																	
男性30代	206人																																																	
男性40代	206人																																																	
男性50代	206人																																																	
男性60代	206人																																																	
女性20代	206人																																																	
女性30代	206人																																																	
女性40代	206人																																																	
女性50代	206人																																																	
女性60代	206人																																																	
合計	2060人																																																	

※アンケート集計後、国勢調査の日本の年齢別性別人口割合をもとにウエイトバックを行った。

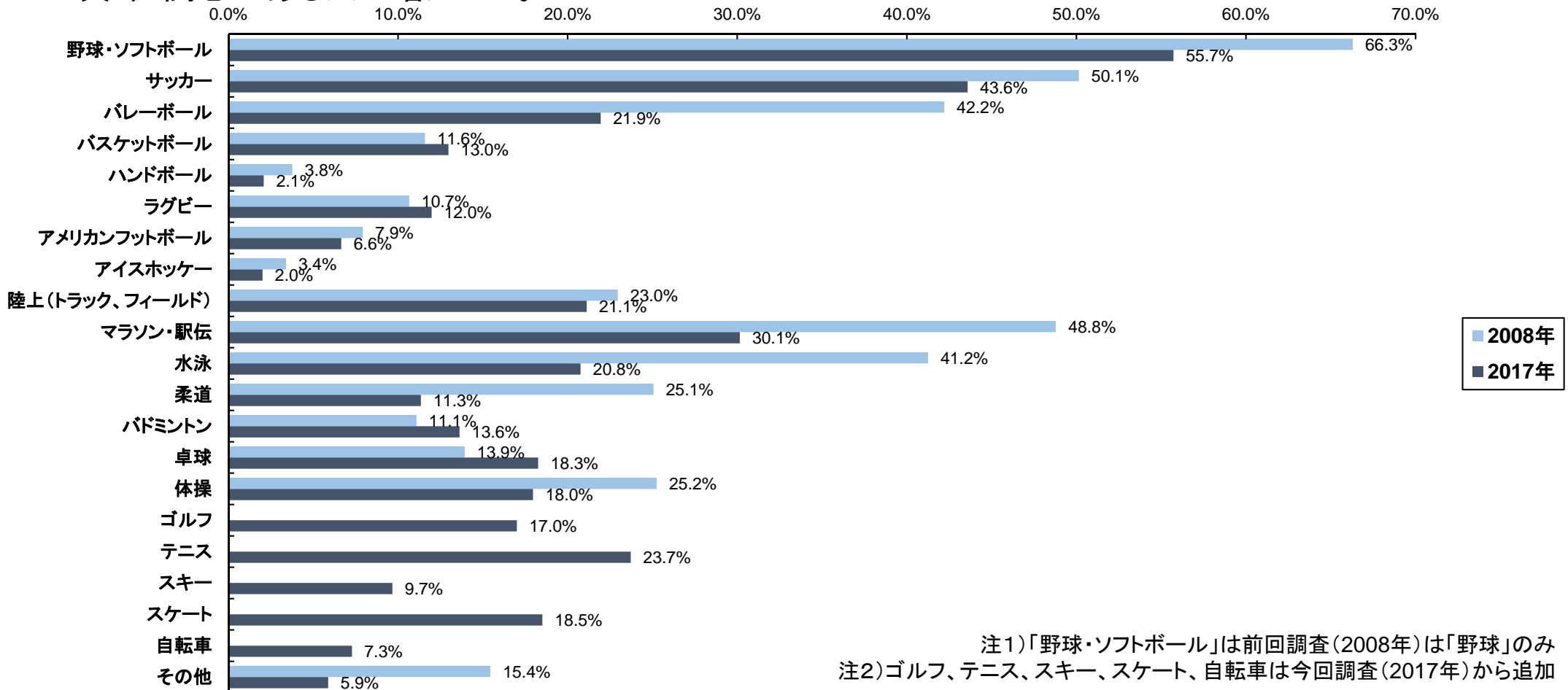
## Q1.あなたはスポーツに興味・関心をお持ちですか？(ひとつだけ)

- スポーツに興味・関心のある国民は「非常に興味・関心がある」「まあまあ興味・関心がある」を併せて、68.1%に達している。
- 前回調査(2008年)では81.1%であったことから、この10年間でスポーツへの興味・関心は減少していると言える。



## Q2.現在、あなたが興味・関心のある競技を選んで下さい。(いくつでも)

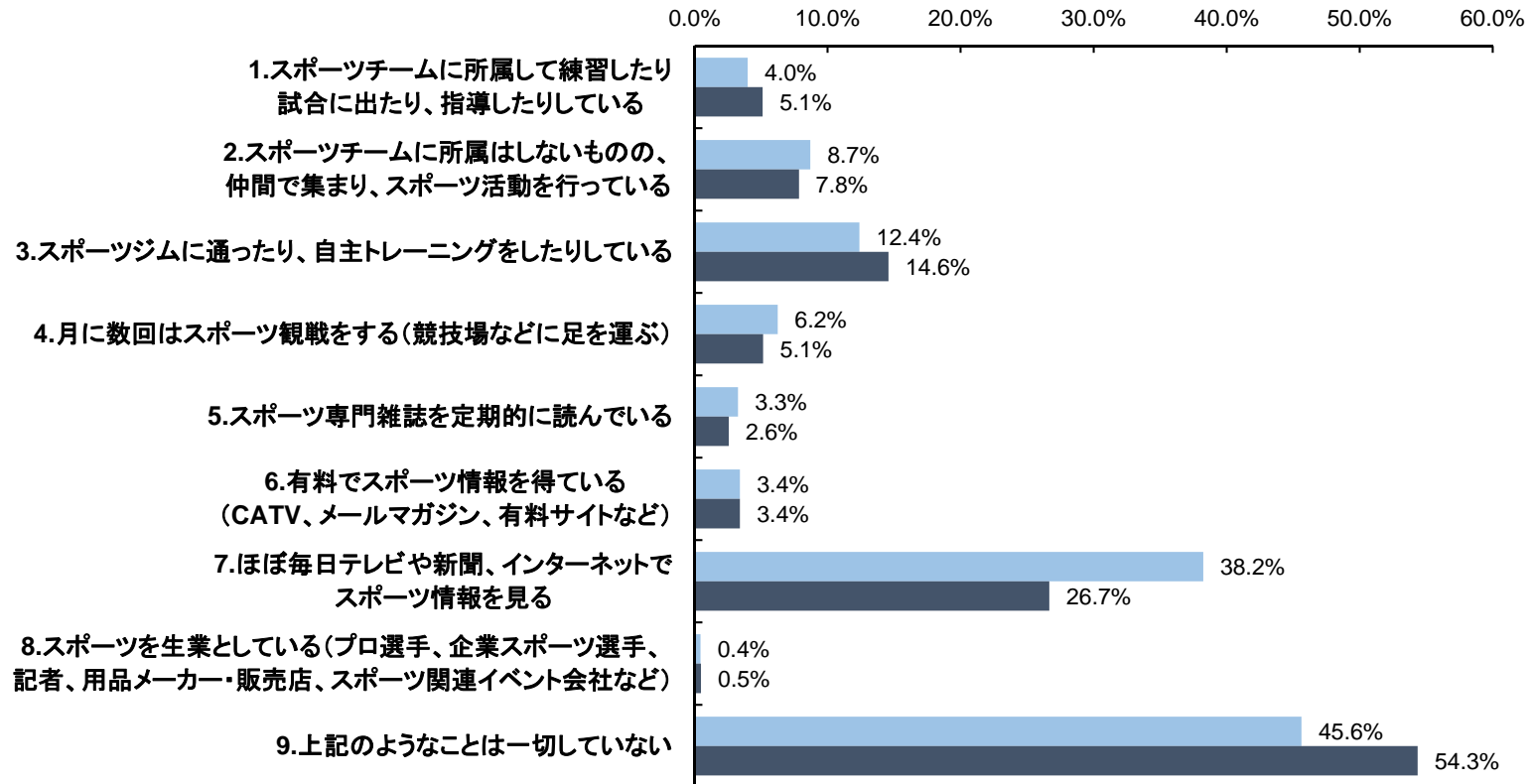
- Q1において、スポーツに対し「非常に興味・関心がある」または「まあまあ興味・関心がある」と答えた人に、興味・関心のある競技を質問した。
- 多くの競技で興味・関心のある人は減少したが、バスケットボール、ラグビー、バドミントン、卓球の4競技では興味・関心のある人が増加した。



注1)「野球・ソフトボール」は前回調査(2008年)は「野球」のみ  
 注2)ゴルフ、テニス、スキー、スケート、自転車は今回調査(2017年)から追加

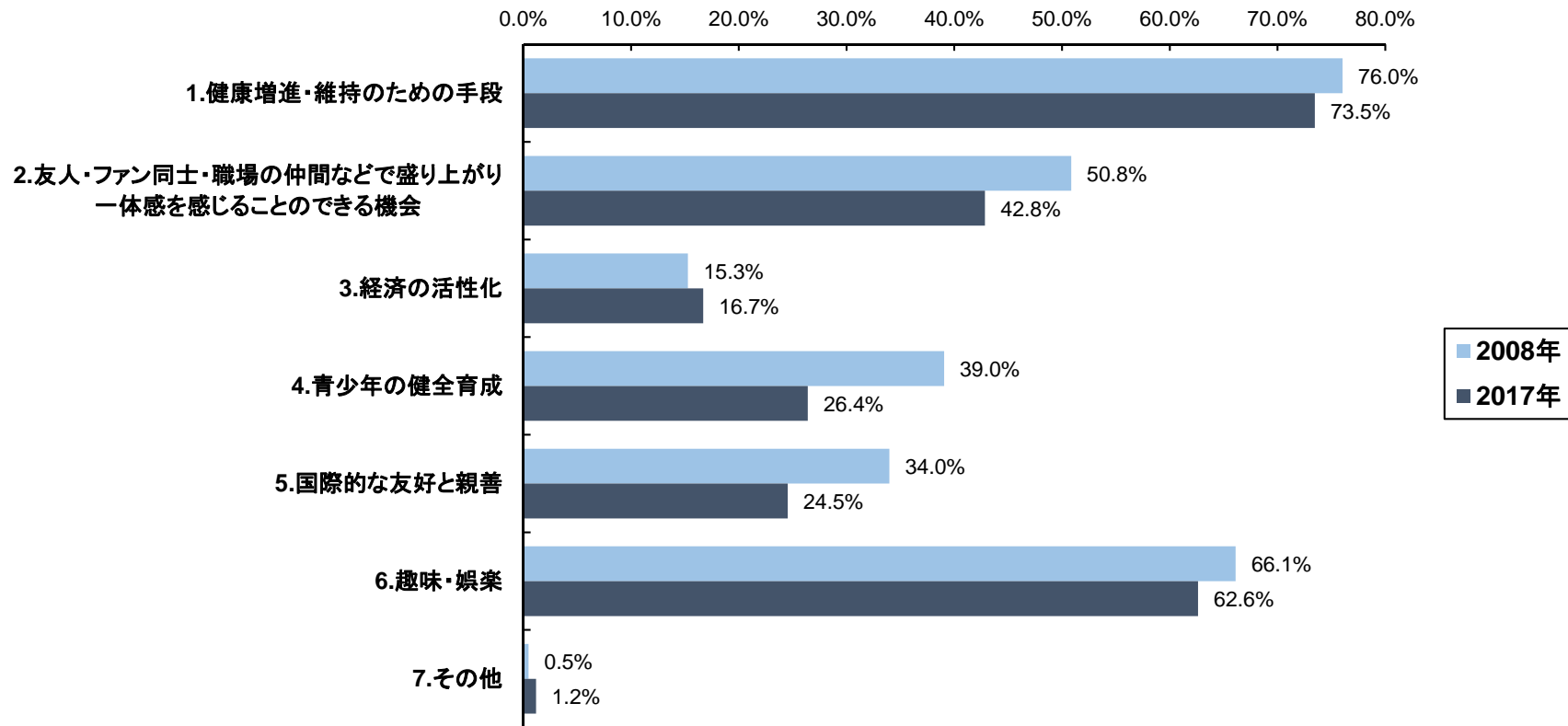
### Q3.あなた自身は日常において、スポーツとどのように接していますか？(いくつでも)

- 自主的な運動を行っている人は微増したものの、「ほぼ毎日テレビや新聞、インターネットでスポーツ情報を見る」という人は、前回調査(2008年)から大きく減少した。



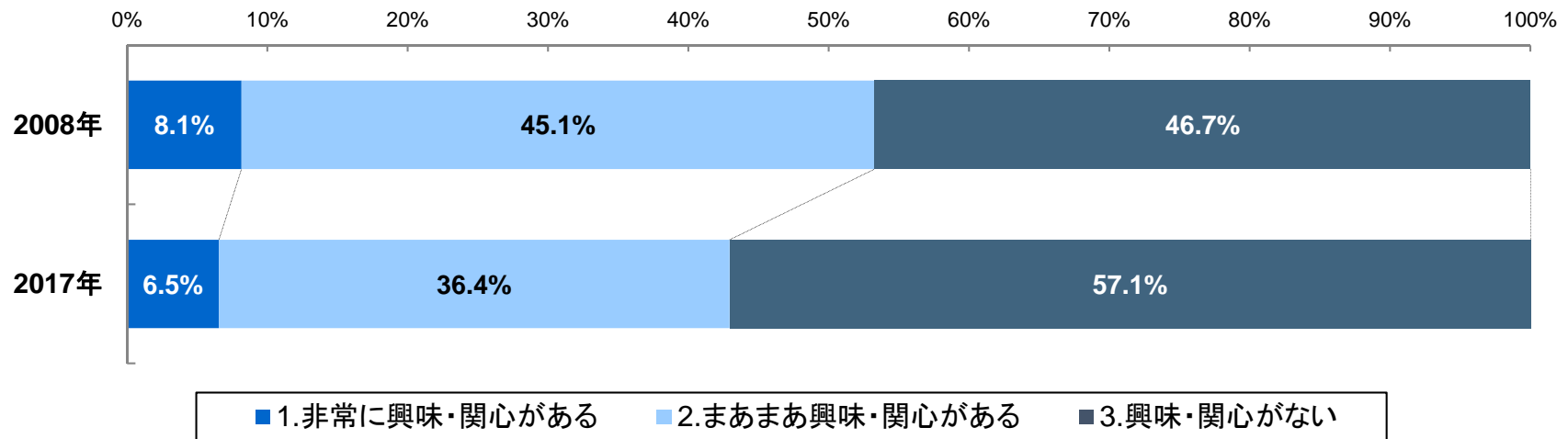
## Q4.そもそもスポーツとは、社会や人々にとってどのような役割があるとお考えでしょうか？(いくつでも)

- 今回調査(2017年)でも前回調査(2008年)と同様に、社会や人々にとってのスポーツの役割を「健康増進・維持のための手段」と考えている人が最も多い。
- 前回調査(2008年)と比較すると、各項目で相対的に減少しているが、「経済の活性化」の役割があると考えている人は微増した。



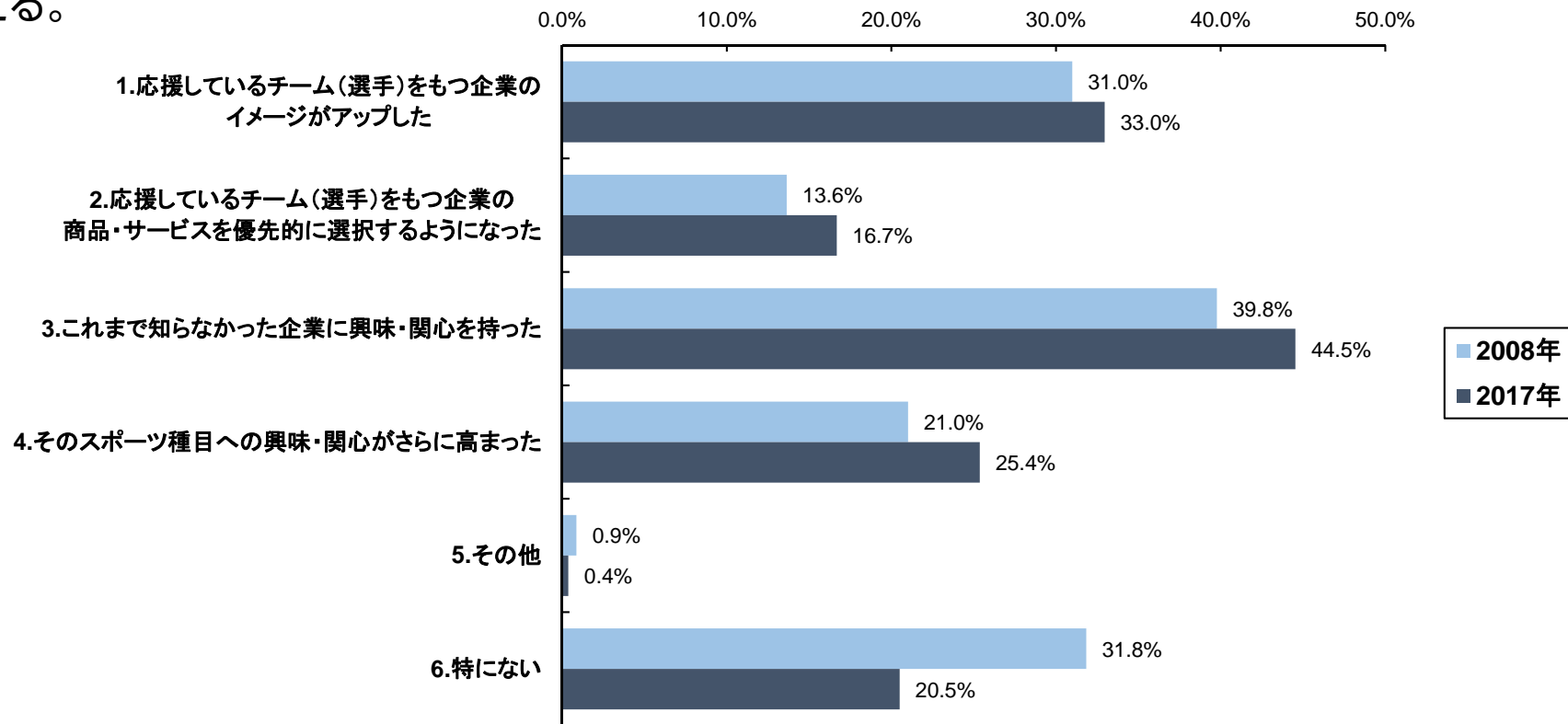
## Q5.あなたは「企業スポーツ」に興味・関心をお持ちですか？

- 企業スポーツに興味・関心のある国民は「非常に興味・関心がある」「まあまあ興味・関心がある」を併せて、42.9%に達している。
- 前回調査(2008年)では53.3%であったことから、この10年間で企業スポーツへの興味・関心は減少していると言える。



## Q6.企業スポーツへの興味・関心を通じて、あなた自身の行動や意識が変化したことはありますか？あれば、どのようなことかお答え下さい。(いくつでも)

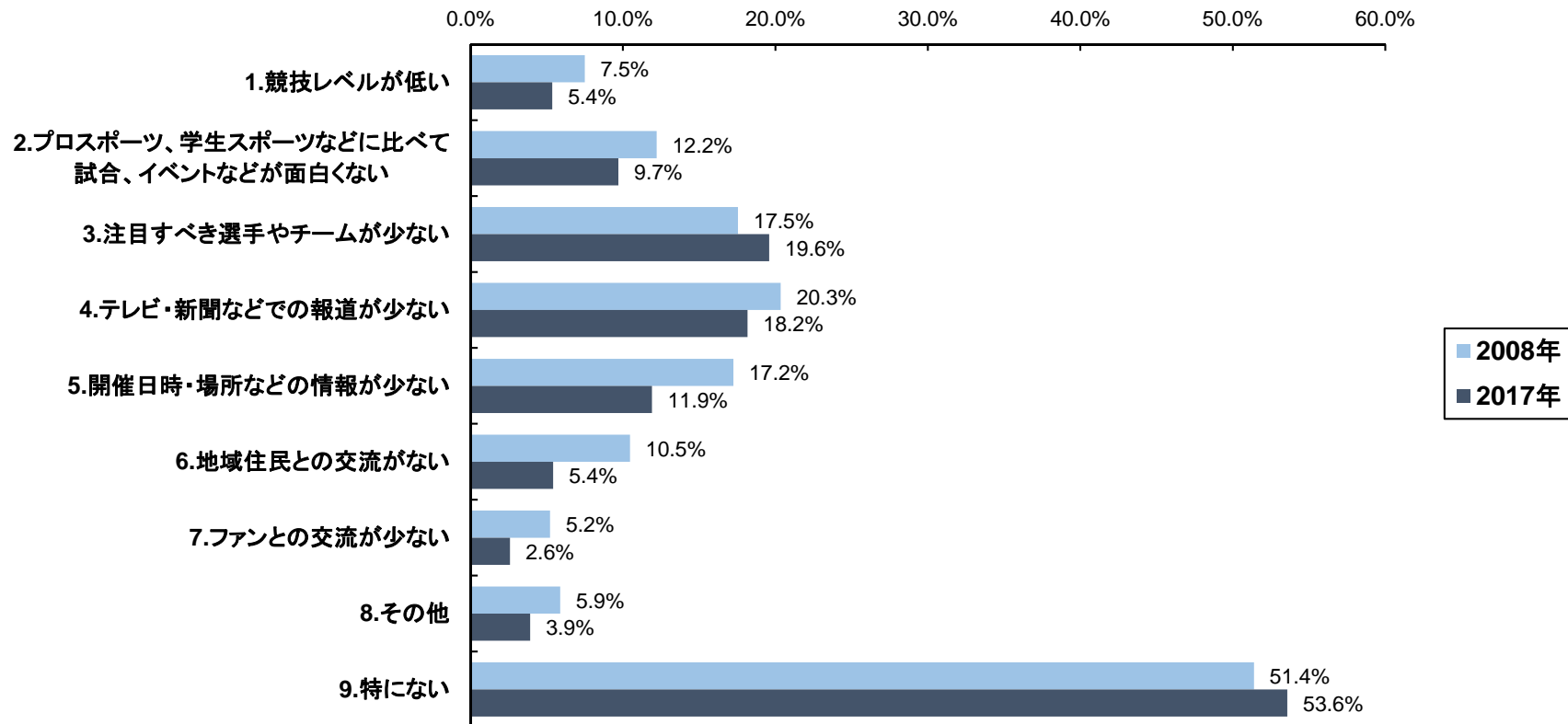
- Q5において、企業スポーツに対し「非常に興味・関心がある」または「まあまあ興味・関心がある」と答えた人に、企業スポーツへの興味・関心によって変化した意識・行動を質問した。
- 「これまで知らなかった企業に興味・関心を持った」「応援しているチーム(選手)をもつ企業のイメージがアップした」と答えた人が多かったことから、企業スポーツは企業のイメージや認知度の向上に一定の効果があると言える。





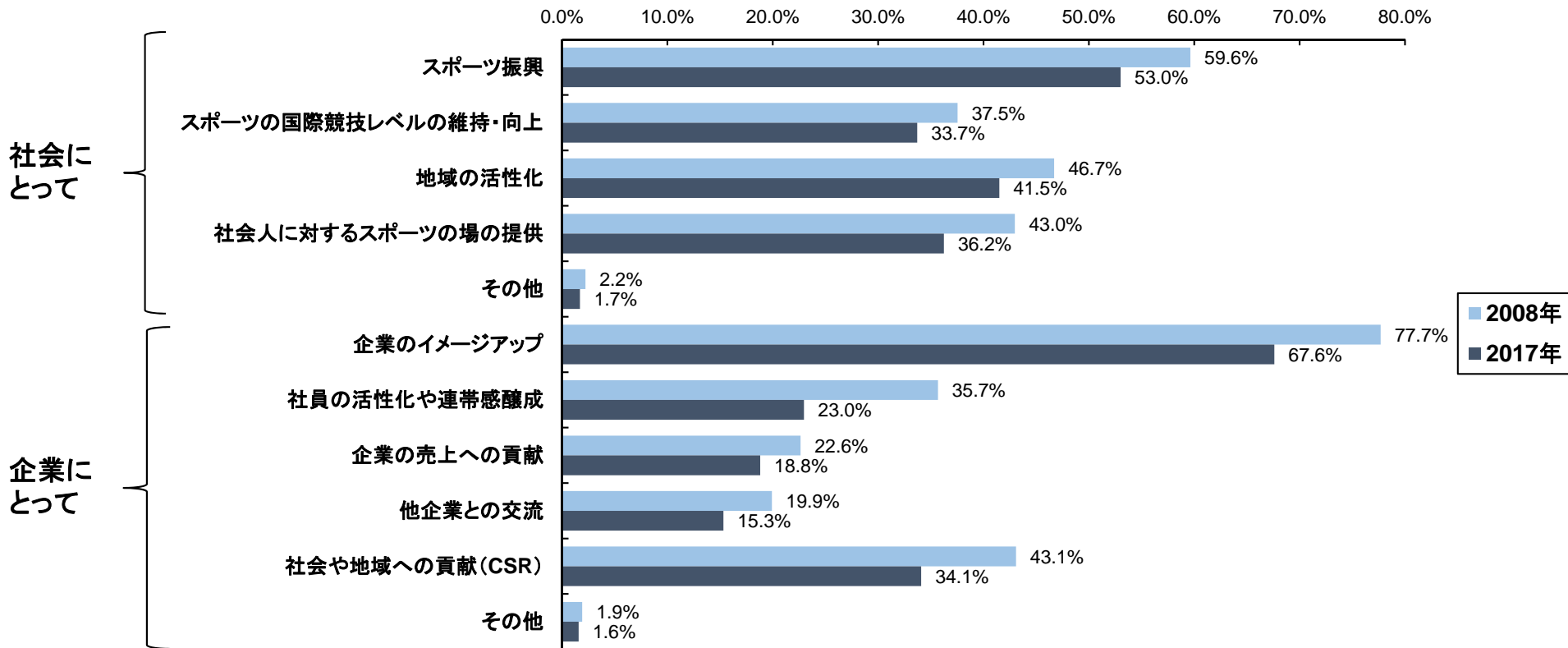
## Q7.企業スポーツに興味・関心がない理由は何ですか？(いくつでも)

- Q5において、企業スポーツに対し「興味・関心がない」と答えた人に、企業スポーツに興味・関心のない理由を質問した。
- 企業スポーツに対し興味・関心のないことについて、明確な理由をもっていない人が最も多い。



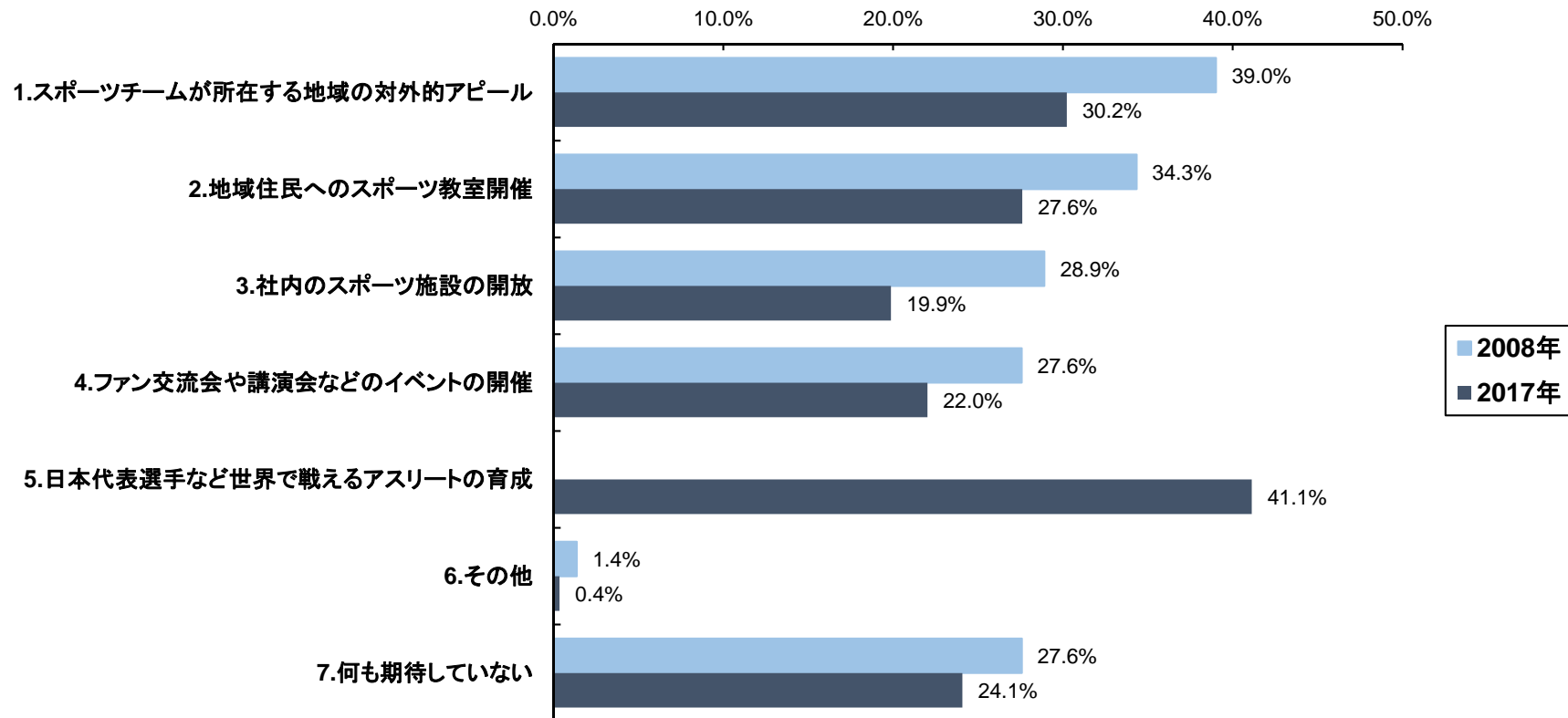
## Q8.社会、もしくは企業にとって、「企業スポーツ」を支援していくことはどのような役割を持つと思いますか？(いくつでも)

- 企業スポーツを支援することの社会にとっての役割は、4つの選択肢全てにおいて一定の理解は得られている。その中でも「スポーツ振興」の役割があると感じている人が多い。
- 企業スポーツを支援することの企業にとっての役割は、「企業のイメージアップ」や「社会や地域への貢献(CSR)」であると感じている人が多い。



## Q9.地域貢献や社会貢献の観点から、 あなたが、現在の企業スポーツのチームや選手に期待することは何ですか？(いくつでも)

- 今回調査(2017年)の選択肢の中では、企業スポーツに対し「日本代表選手など世界で戦えるアスリートの育成」を期待している人が最も多い。

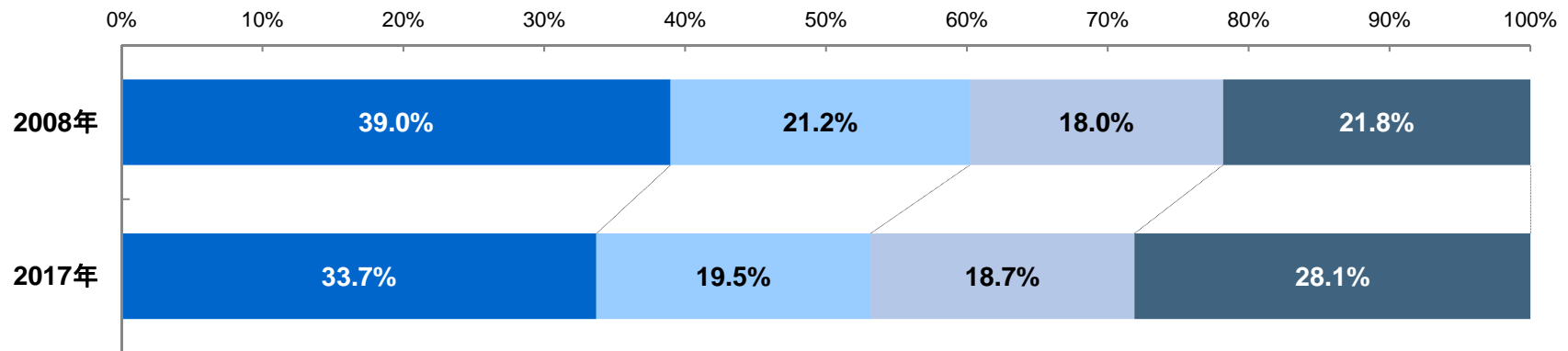


注)「日本代表選手など世界で戦えるアスリートの育成」の選択肢は今回調査から追加

## 企業スポーツに関して | 企業スポーツ衰退の影響①

Q10.従来から、スポーツチームを持つ企業が、チーム運営によるコスト負担増加や企業の経営悪化などの理由から、チームを解散・統合させるニュースが聞かれることがありました。企業のスポーツチーム数が減少し、「企業スポーツ」が衰退していくことに関して、どのようにお考えでしょうか？(ひとつだけ)

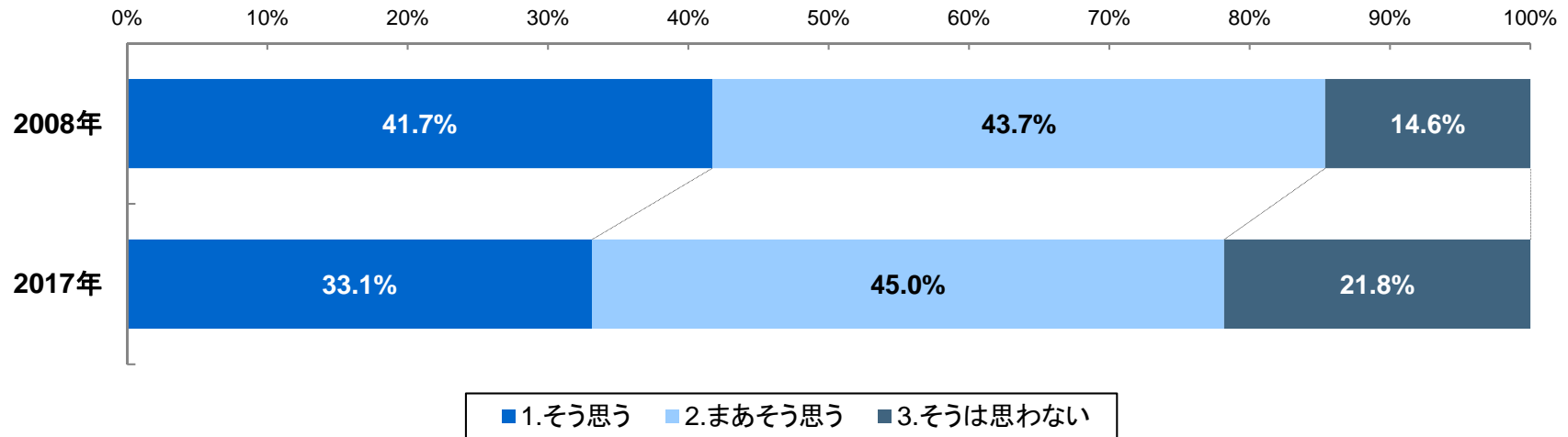
- 企業スポーツが衰退していくことに関して、日本のスポーツレベルが低下することや、社会や地域としての心のよりどころがなくなることなどを心配するような悲観的な意見を持つ人は前回調査(2008年)から減少している。
- それに対し、本来の企業の活動は利益追求であるため企業スポーツの衰退は当然の方向であると考える人には減少傾向は見られない。



- 1.日本のスポーツレベルが低下することが心配である
- 2.個人として、また社会や地域としての心のよりどころが無くなるのが心配である
- 3.本来、企業は利益を追求していくべきであるから、当然の方向である
- 4.わからない

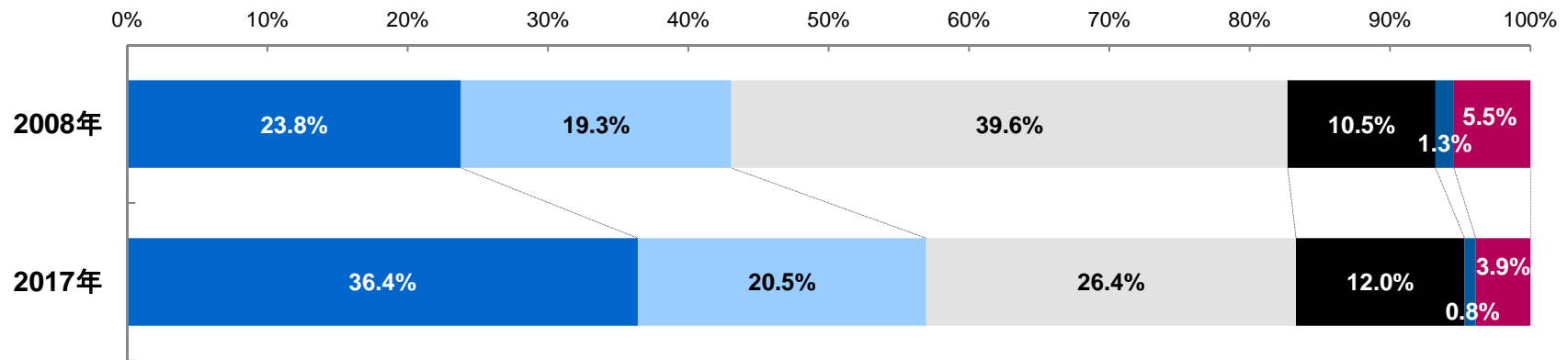
## Q11.「企業スポーツ」が衰退することによって、日本のスポーツ振興や競技レベルの維持・向上にマイナスの影響があると思いますか？(ひとつだけ)

- 企業スポーツの衰退によって日本のスポーツ振興や競技レベルの維持・向上にマイナスの影響があると感じる人(「そう思う」「まあそう思う」と答えた人の割合)は、前回調査(2008年)から減少したものの、全体の78.2%と依然として高い。



## Q12.日本のスポーツの競技力の維持・向上を考えた場合、現在あるスポーツチームを現状の支援企業以外の、どのような主体がもっと積極的に支援すべきと思いますか？(ひとつだけ)

- Q11において、「そう思う」または「まあそう思う」と答えた人に、現在あるスポーツチームを支援すべき主体を質問した。
- 今回調査(2017年)では、国がスポーツを支援すべきと考える人が最も多い。
- 前回調査(2008年)と比較すると地域企業や住民がスポーツを支援すべきと考える人が大きく減少した。

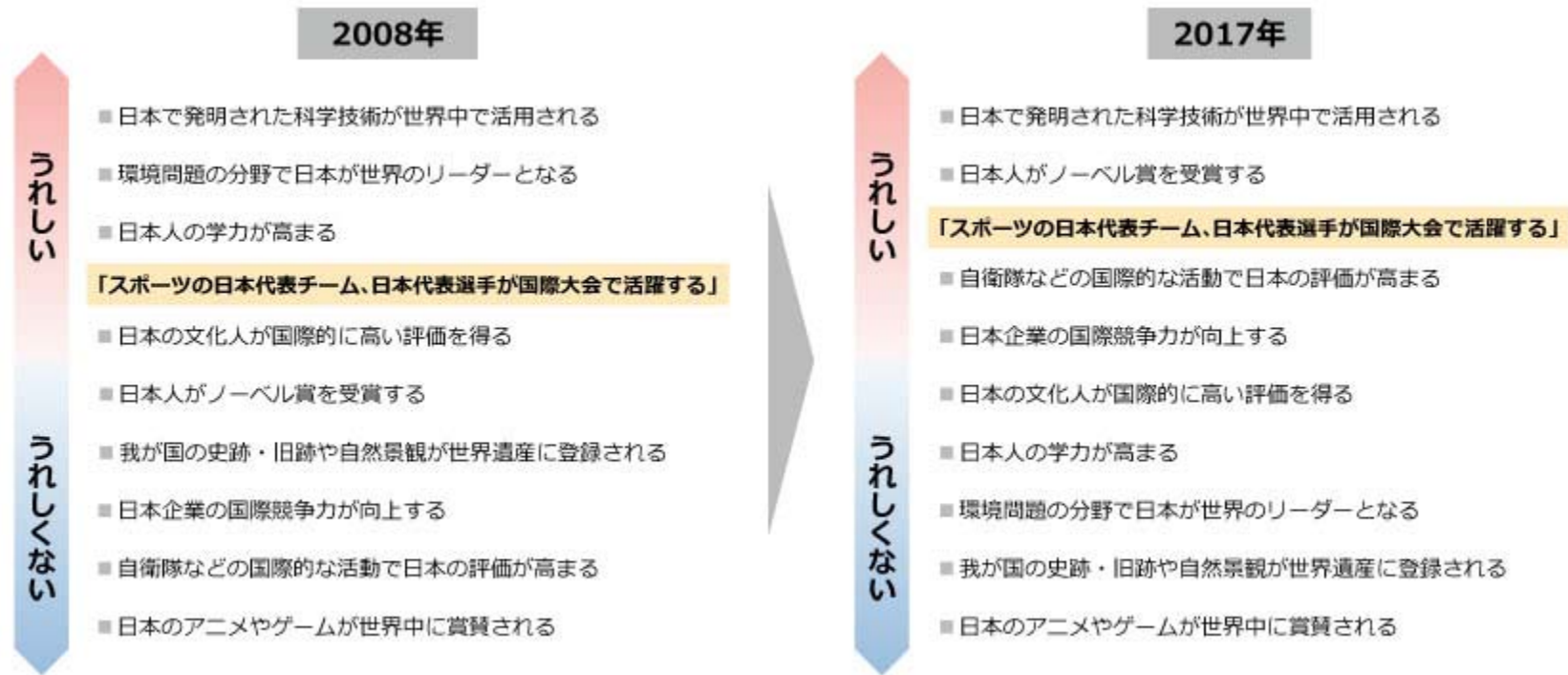


- 1.国
- 2.地方自治体
- 3.地域の企業や住民(企業の本社やチームの本拠地がある地域など)
- 4.他の企業(企業スポーツに取り組む企業以外)
- 5.その他
- 6.誰も支援すべきではない

## スポーツ全般に関して | スポーツの活躍がもたらす幸福度

### Q13.あなたにとって、以下のA, Bそれぞれの出来事は、どちらがどれだけ嬉しく感じられますか。(それぞれひとつずつ)

- 今回調査(2017年)において、スポーツの活躍が国民に与える幸福度は全10項目中3位と、他分野と比較しても高い。
- 前回調査(2008年)と比較すると、スポーツの活躍が国民に与える幸福度の相対順位は4位から3位に上昇した。

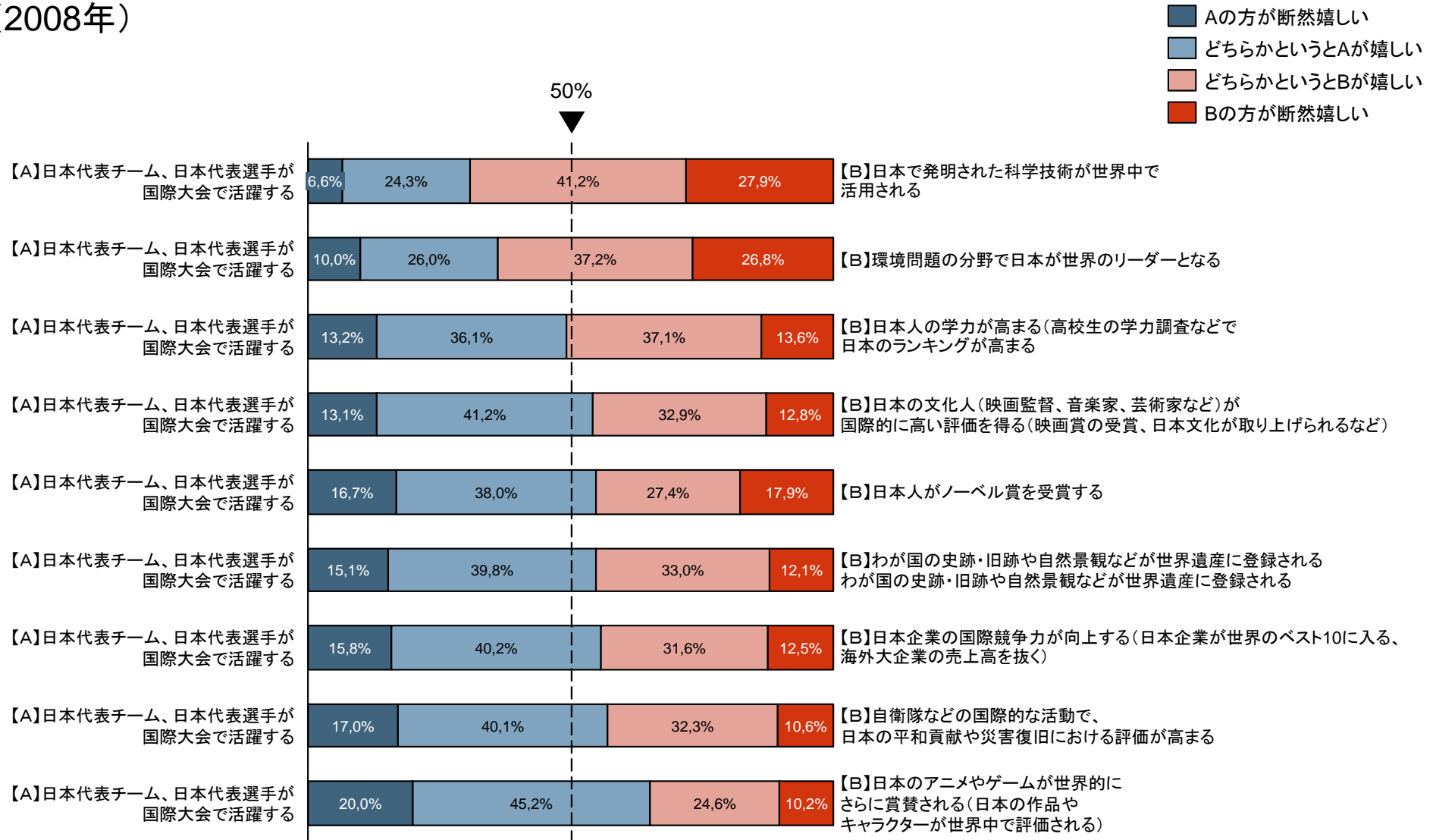


各項目の回答割合の内訳は次ページ以降

参考)

# Q13.あなたにとって、以下のA, Bそれぞれの出来事は、どちらがどれだけ嬉しく感じられますか。(それぞれひとつずつ)

## ■ 前回調査(2008年)

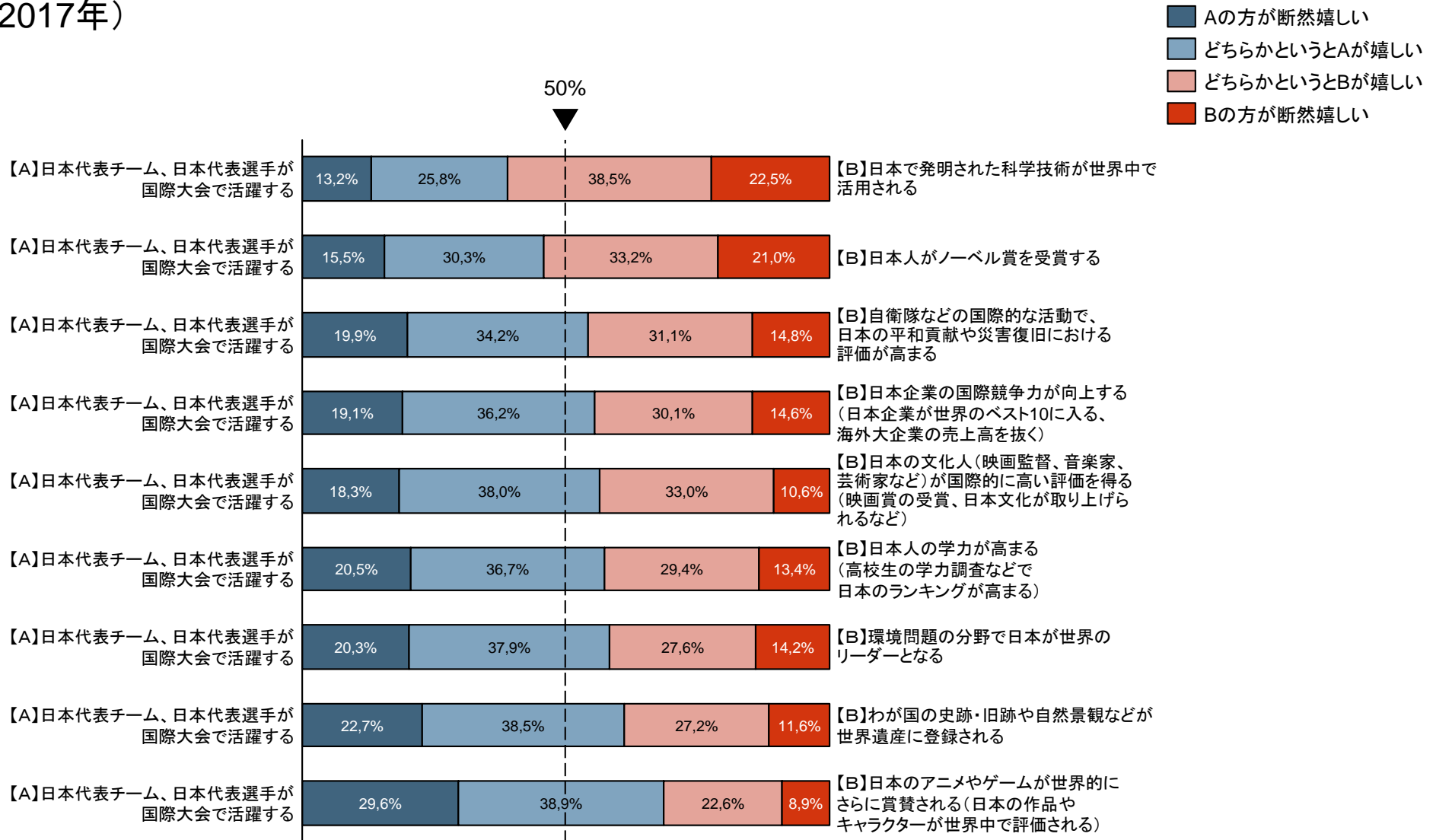




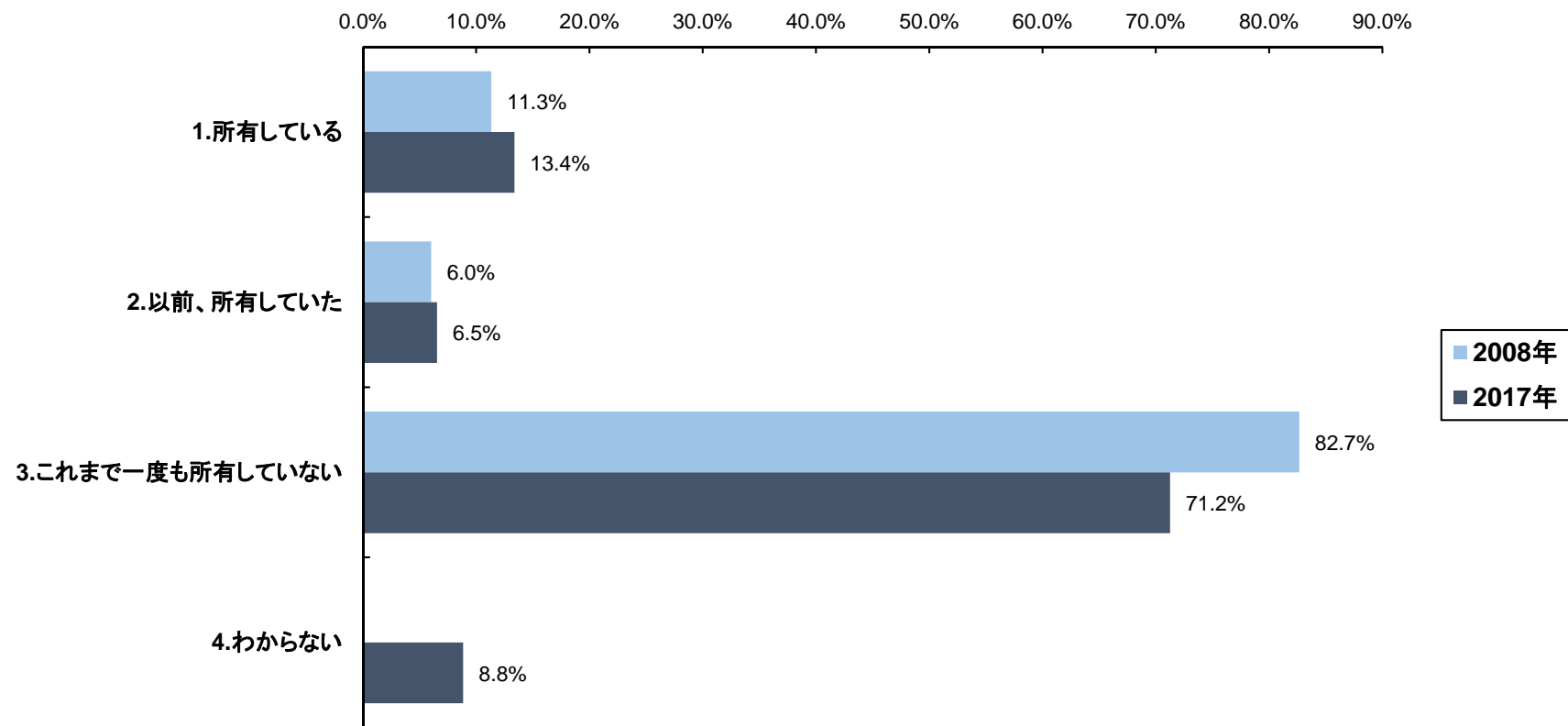
参考)

# Q13.あなたにとって、以下のA, Bそれぞれの出来事は、どちらがどれだけ嬉しく感じられますか。(それぞれひとつずつ)

## ■ 今回調査(2017年)



## Q14.現在、お勤めの企業は、スポーツチームを所有していますか？



注)「わからない」は今回調査(2017年)から追加

**NRI**

未来創発

**Dream up the future.**